



2026年9月11日

各位

会社名 アゼアス株式会社
代表者名 代表取締役社長 斉藤文明
(コード番号: 3161 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員 鈴木一裕
(TEL. 03-3865-1311)

業績予想の修正に関するお知らせ

2026年6月12日に公表いたしました、2027年4月期第2四半期（中間期）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2027年4月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年5月1日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,964	百万円 45	百万円 52	百万円 31	円 銭 5.47
今回発表予想（B）	4,057	58	60	29	5.07
増減額（B－A）	93	13	8	△2	
増減率（％）	2.3	30.2	15.6	△7.3	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年4月期第2四半期）	3,777	12	21	4	0.86

2027年4月期第2四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2026年5月1日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,786	百万円 50	百万円 60	百万円 39	円 銭 6.85
今回発表予想（B）	3,901	81	89	58	10.20
増減額（B－A）	115	31	29	19	
増減率（％）	3.0	62.6	48.8	48.9	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年4月期第2四半期）	—	—	—	—	—

（注）当社は、2026年4月期第2四半期（中間期）においては、個別の中間財務諸表を開示していないため、2026年4月期第2四半期（中間期）の個別実績の記載をしておりません。

修正の理由

(1) 第2四半期(中間期)連結業績予想の修正理由

当期第1四半期連結累計期間において、主力の防護服・環境資機材事業は、地政学リスクの高まりを受け、既存マーケットにおいて、化学防護服を中心に個人用保護具の安定調達に向けた動きが広まるとともに、ライフマテリアル事業アパレル資材分野は、食品工場白衣の副資材販売が堅調に推移し、スクールウェアにおいても需要回復の兆しが見られた結果、売上高は当初の想定を上回りました。利益面においても、上記のとおり、防護服・環境資機材事業とライフマテリアル事業アパレル資材分野の売上貢献により、当初の見通しを上回りました。

以上の結果、売上高は前回発表予想額より93百万円増加の4,057百万円、営業利益は13百万円増加の58百万円、経常利益は8百万円増加の60百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は2百万円減少の29百万円に各々修正いたします。

(2) 第2四半期(中間期)個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、(1)の連結業績予想の修正理由に記載の要因により、売上高は前回発表予想額より115百万円増加の3,901百万円となり、それに伴い営業利益は31百万円増加の81百万円、経常利益は29百万円増加の89百万円、中間純利益は19百万円増加の58百万円に各々修正いたします。

(3) 通期の連結及び個別業績予想について

通期業績につきましては、(1)の連結業績予想の修正理由に記載の要因により、防護服の流通在庫が一時的に増加しているものと推測されますが、第3四半期以降においては、市場動向や経済活動の見通しの判断が難しく、防護服等個人用保護具の需要への影響が不透明であるため、連結及び個別とも、業績予想を変更しておりません。今後、通期の業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上